

平成30年1月29日

魚沼市議会議長 森 島 守 人 様

公共施設再編整備特別委員会
委員長 岡 部 計 夫

公共施設再編整備特別委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査
(2) 現地調査の総括
(3) その他

- 2 調査の経過 1月29日委員会を開催し、上記事件について調査を行った。
現地調査として南魚沼市役所大和庁舎を視察し、視察調査後総括を行った。

公共施設再編整備特別委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査

(2) 現地調査の総括

(3) その他

2 日 時 平成30年1月29日 午後1時20分

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 浅井宏昭、星野みゆき、大平恭児、志田 貢、佐藤敏雄、岡部計夫、
渡辺一美、関矢孝夫、高野甲子雄、遠藤徳一、(森島守人)

5 欠席委員 なし

6 説明員 富永企画政策課長、桑原企画政策室長

7 書 記 櫻井議会事務局長、中川主任

8 経 過

開 会 (13:20)

岡部委員長 定足数に達していますので、ただいまから公共施設再編整備特別委員会を開会
します。本日の委員会は前回の委員会において、先進地視察等について委員の皆さんから
希望があり、委員長一任ということでまとめさせていただきました。主管課と相談し、今
回は先進地視察をということで調整をさせていただきました。

(1) 現地調査

岡部委員長 日程第1、現地調査を議題とします。本日は、お手元に配付した行程表のと
おり、南魚沼市役所大和庁舎の現地調査を行います。しばらくの間休憩します。

休 憩 (13:21)

休憩中に現地調査

再 開 (16:11)

岡部委員長 休憩を解き、会議を再開します。

(2) 現地調査の総括

岡部委員長 日程第2、現地調査の総括を議題といたします。皆さんから現地調査の総括意見として、順次発言をお願いします。

星野委員 グローバルITパークについては、実際に最後に見せていただきましたが、何となく想像がつかない感じで、これが魚沼市でとなると、国際大学というようなインターナショナル系のところがないので、ちょっとどうなのかなという思いがありました。市民の声をさほど伺うこともなく、うまく庁舎の利活用が運んでいったということに驚きました。有効活用ができるような内容のところは、魚沼市でも活用できていけたらと思いました。

大平(恭)委員 企業にオフィスを貸すという感覚、考え方、つながりを通じていろいろな形で入っていただいているということがよくわかりました。いきなり誘致して、公募してもらっていただくのではなく、無理のない形で入っていただいていると。それぞれの自治体がそれぞれの考え方や付き合い、つながりでやっていくのは、我が市でも同様な考え方、同様な形でやっていけるというのはありかなと思いました。住民の方々に対して、いま一つ反応だとか考え方とかが知られてるとは思えませんが、ただ、公共施設再編の中で必要に迫られてるというのが、中学校統合の部分でも語られていましたので、そこら辺は我が市でも丁寧な説明と住民の方に喚起して積極的に利用していただく関係を、この議会でもやっていくことが必要と思いました。セキュリティの問題は細かいところまでは聞けませんでした。情報を大量に保有している庁舎と民間や団体では考え方も違うし、今後問題が出てくる可能性もなきにしもあらず、そういう対応は、神経を使わざるをえないし、多分整うことが非常に難しい部分だと思うんですが、そこをお互いに理解してやらないといけないというのが、特に行政だと非常に難しい部分があると思いました。オフィス等最後に見せていただいたところも間仕切りがあっただけで、オープンなのはいいんだけど、企業が活動していく中では限られた形でやっていかざるをえないという考え方も一つはあったと思うし、ただ、企業に入っていただく考え方はいろんなケースがあっただけいいと思うし、我が市でももし共有する場合はそこら辺を参考に、考え方とつながりの中で考えていかなければいけないと感じました。

志田委員 きょうの視察の中で一番感じたことは、企画政策課長の片桐さんがおっしゃった「昔は人口がふえてる中で施設を作っていた、今は人口が減る中で施設をどう再編していくか大変難しい問題に直面している」という言葉が印象的で、本当にそのとおりだと思います。昔は行政の建物の中に、民間が入るということは想像もつかなかったことですが、利便性や地域の活性化を考えると複合的に施設が公共の建物の中に入ることによって、いろんな相乗効果が生まれると感じました。セキュリティの問題をクリアできれば、民間が入ってお互いにいい方向に施設を共有できるのではないかと感じました。

佐藤(敏)委員 庁舎は32年度から空き庁舎になるわけですので、喫緊の課題で早急な対応が必要だとは思いますが、ITパークは地方創生で10分の10補助、また、サテライトオフィスは総務省の補助ということで、うまく地方と連携をとってアイデアをいただいていると

思うんです。せっかく私ども総務省から副市長を招いていますので、またそういう分野で先進事例等についてもお聞かせいただいて、早急な対応が必要だと感じました。

渡辺委員 南魚沼市と魚沼市の条件では、南魚沼市は3つの自治体の合併、魚沼市は6町村の合併ということで、町村の数にしても向こうは半分ですし、あらゆる施設をそれぞれの自治体が持っていたということを考えると、住宅もそうですがきっと南魚沼市の倍はきっとあるんだろうという気がします。向こうと同じようなやり方が魚沼市はなかなか難しいと、まずは感じました。ただ、その中でも向こうがやっている手法として学ぶべきこととしては、新築せずに長寿命化と複合化でどう除却するかという考え方は私たちが取り組むべき課題だと思ってます。あと、中学校統合のときに統合のための準備委員会と、空いたときにそこを何に使うのかを並行してきたという話を聞いたときに、魚沼市としてもそこをどうするのかというのの一つと、それから一旦企業に貸してありますけれども、返ってくる時期がきているのが、魚沼市にもまもなく返ってくるのがあるわけですが、そこも本当に地域の人たちがどう使いたいかということをしつかりと聞かせていただきながら、どうするかを考えていくべき時期にきてるんじゃないかなという気がしていました。

関矢委員 空き庁舎の活用については、南魚沼市としては行政側と民間企業の思惑が一致したという形で今使われていると思います。ただ、魚沼市の場合それはそうはならないと私は思っているんですけども、魚沼市は前回利活用について市民の意見をかなり聞いておりますので、ぜひその市民の声をどうやったら庁舎の中で生かせるか、これを行政側と私ども議会側は今後しつかりとつめていって、住民サービスに生かせるような方向性に持っていければと思って聞いてまいりました。

高野委員 私もつくるよりは減らすほうが特段に難しいということが、非常に印象的でそうだなという感じがしています。魚沼市も公共施設再編については、住民への説明会もしてしますので、それをしつかり踏まえて議会も行政も活用方法を考えていかなければいけないということで、南魚沼市は長寿命化で使っていくというのが基本的にあるようですので、その辺も含めてしつかりやっていければいいと思いました。

遠藤委員 大変有意義な視察だったと思います。魚沼市は地形にしても、6町村の区切りがはっきりしている場所でありますので、個々の建物というよりはその地域、エリアの中のサービスをどう提供していけるかという観点から、コンテンツ探しにまずはしつかり取り組み、求めているサービス等を取捨選択しながらどういった活用があるか、その辺を根底から外さずに個々の建物一つを捉えるのではなく、皆さんの声をどう反映していくかという取り組みをしつかりとやらないと、いる、いない、残せ、残さない、安い、高いの議論だけが横行するような感じがします。求めているサービス、コンテンツをしつかりと捉える作業を、既存庁舎の問題等も含めて、その作業に時間をかけるべきだという感じがしました。

浅井委員 先ほど佐藤敏雄委員からもありましたけれども、お試しサテライトオフィス、この期間が今年度いっぱいということでしたので、間に合えば総務省から来ている副市長の力を存分に使って、考えてもらうのもありかと思いました。あと、公共施設のこれからのあり方を市民の方から今一生懸命考えてもらって、だんだん形になってきているところですけども、市民の声を全て無駄にするわけじゃありませんが、県内外へ公共施設の活用を呼びかければ大企業の誘致までいかななくても、小さい企業が入ってきて市内が活性化す

るのではないかなという考えもありました。

岡部委員長 委員の皆さんからご意見をいただきました。その他、総括的な意見等ありましたらお願いします。(なし) 本件については以上とし、引き続き調査していくことといたします。

(3) その他

岡部委員長 日程第3 その他を議題とします。その他、執行部の皆さんから報告事項等はありませんか。(なし) 委員の皆さんからご意見、協議事項等はありませんか。(なし) 本日の会議録の作成については、委員長に一任願います。本日の公共施設再編整備特別委員会は、これで閉会します。

閉 会 (16 : 25)